

都市再生整備計画 事後評価シート
宮市・三田尻地区

平成31年3月

山口県防府市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	山口県		市町村名	防府市		地区名	宮市・三田尻地区			面積	400ha	
交付期間	平成25年度～30年度		事後評価実施時期	平成30年度		交付対象事業費	1286百万円	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	地域生活基盤施設(情報板)、高質空間形成施設(修景整備、電線類地中埋設施設)								
			提案事業	まちづくり支援事業(シンポジウム開催等)、安心・安全推進事業(交通量調査等)、事業効果分析調査(宮市三田尻地区)、まち並み景観保全育成事業(ワークショップ等)								
	当初計画から削除した事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
			基幹事業	なし								
	提案事業	①地域創造支援事業:観光回遊交通支援事業(小規模コミュニティサイクルシステム社会実験) ②まちづくり活動推進事業:観光まちづくり推進事業(社会実験(オープンカフェ等))			①観光まちづくりのための回遊性の向上対策は、別事業による取組としたため、地域創造支援事業(観光回遊交通支援事業)を取りやめる。 ②道路修景整備事業の進捗及び、道路管理者との協議の結果、まちづくり活動推進事業(観光まちづくり推進事業)を取りやめる。			影響なし				
新たに追加した事業		基幹事業	なし									
		提案事業	①まちづくり活動推進事業:まちづくり情報発信事業(ホームページ作成等)			①市民のまちづくりに対する理解・関心を高めていくためには、まちづくり活動や市民からの提案等に関する情報を分かりやすく共有し、いける仕組みづくりが重要であることから、ホームページ等により情報発信の場を設けて、まちづくり活動参加者数の増加・拡大を目指す。			影響なし			
交付期間の変更		当初	平成25年度～29年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		影響なし					
		変更	平成25年度～30年度									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	萩往還・旧山陽道の自転車歩行者数	人/日	400	H23	500	H30	290	370	×	あり ● なし	道路修景整備が現在施工途中であることや、計測地点の一部が工事中であったことにより、事業効果の発現が見られない。 H32年1月頃
	指標2	まちづくり活動への参加者数	人/5年	70	H24	300	H29	600	900	○	あり なし	まちづくり活動への参加者数は、従前値(70人)に比べ約900人と大幅に増加しており、目標値に達している。 -
	指標3	萩往還・旧山陽道沿いの空地利用率	%	0	H23	20	H30	8	15	△	あり なし ●	道路修景整備が現在施工途中であるが、空地利用率は着実に増加している。 H31年9月頃
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	観光交流・回遊拠点施設「まちの駅うめてらす」の利用者数	万人/年	43	H23			58	52			快適で安心安全な歩行者空間が形成されつつあることで、整備区間に隣接する「まちの駅うめてらす」の利便性が向上し、従前値と比べ利用者数が増加した。 H32年1月頃
	その他の数値指標2	レンタサイクル利用者数	人/年	1,262	H23			2,166	3,760			快適で安心安全な歩行者空間が形成されつつあることで、防府駅を拠点とした周遊観光効果が発現し、観光案内所(防府駅)のレンタサイクル利用者数が増加した。 H32年1月頃
	その他の数値指標3											
4)定性的な効果発現状況	宮市・三田尻地区の整備にあたって、防府市歴史を活かしたまちづくりシンポジウムや歴史を活かしたまちづくりワークショップなどを開催し、まちづくりに対する意識が向上している。											
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	交通量調査によるモニタリング		都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ● 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				必要な時期に実施し、事業効果の確認を行う。				
	住民参加プロセス	防府市歴史を活かしたまちづくりシンポジウム 歴史を活かしたまちづくり会議 歴史を活かしたまちづくりのワークショップ		都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ● 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				今後も引き続き市民のまちづくりに対する意識の高揚・醸成を図る。				
	持続的なまちづくり体制の構築	まちづくり人材育成事業(まち塾)		都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ● 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				身につけた知識・技術や参加者同士の交流機会を活かし、ワークショップ等のまちづくり活動への積極的な参加を促す。				

様式2-2 地区の概要

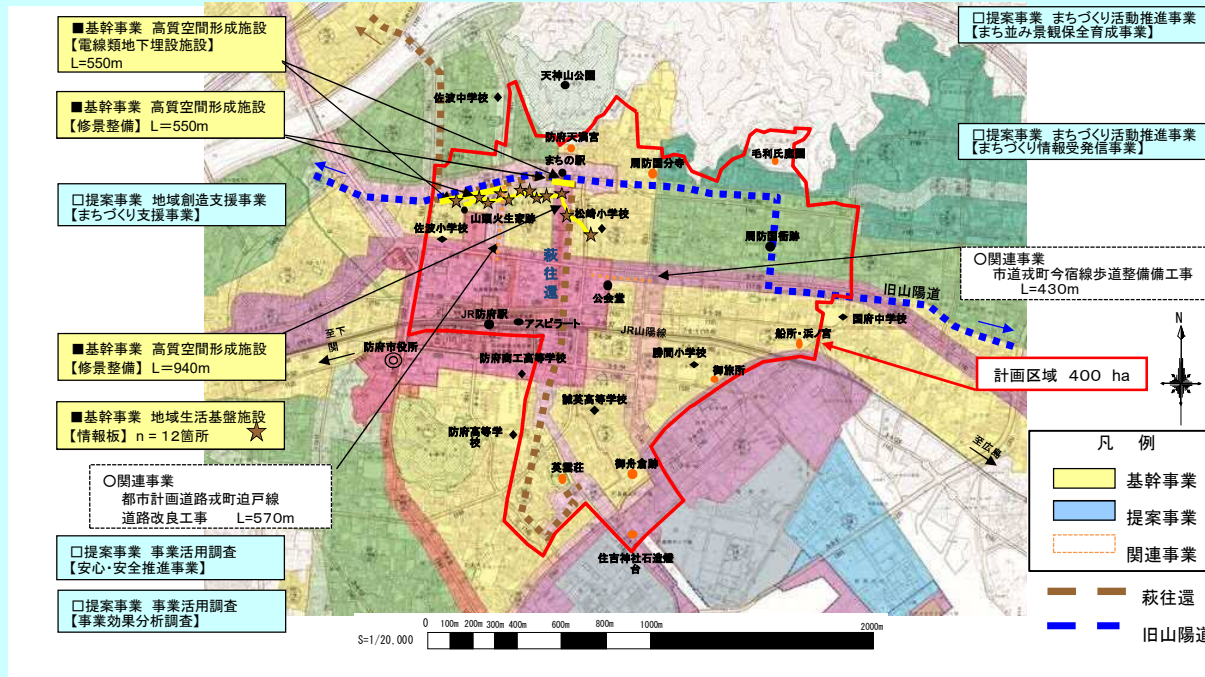
宮市・三田尻地区(山口県防府市) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標「歴史を活かしたまちづくり」の実践 ① 歴史的・文化的資産等の保全活用による賑わいと活性化 ② 快適で安心安全な歩行者空間の創出 ③ 守り育ててきたまち並み環境の保全と継承	萩往還・旧山陽道の自転車歩行者数	単位:人/日 400 H23	500 H30	370 H30	
	まちづくり活動への参加者数	単位:人/5年 70 H24	300 H30	900 H29	
	萩往還・旧山陽道沿いの空地利用率	単位:% 0 H23	20 H30	15 H30	
	観光交流・回遊拠点施設「まちの駅 うめてらす」の利用者数	単位:万人/年 43 H23	-	-	52 H30
	レンタサイクル利用者数	単位:人/年 1,262 H23	-	-	3,760 H30

【基幹事業】高質空間形成施設



【提案事業】地域創造支援事業



【提案事業】まちづくり活動推進事業



まちの課題の変化

・「まちの駅うめてらす」の利用者数は従前値より増加しているものの、この数年間、利用者数が横ばい傾向にある。
 ・狭さくの設定や電線類の地中化により、歩道幅員が確保され安全な通行に寄与した。
 ・萩往還・旧山陽道沿いの空地利用率は約1.5割に増加(2箇所の空地利用)しているが、更なる利用向上を図る必要がある。
 ・また、萩往還・旧山陽道の街路整備は進んでいるが、歴史的なまち並みの維持・向上には至っていない。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

・安心安全な自転車歩行者空間を維持するため、萩往還・旧山陽道の交通状況の継続的な調査を実施する。
 ・関係機関や周辺観光施設等と連携し、「まちの駅うめてらす」周辺を拠点とした各種イベントの開催や、市外への情報発信を強化する。
 ・関係機関や市民との連携により空地利活用の更なる促進及び、歴史的なまち並みの維持、向上を目指す。